

レファレンス事例集

一般編

注：長浜市内の図書館での調査結果をもとに編集しています。「参考資料」として掲載した資料はすべて図書館に所蔵しています。事後調査により加筆修正する可能性があります。ご了承ください。

数多くの事例の中から生活に役立つようなものを中心に紹介します。

- Q1 漢字で表記された国名について
- Q2 花梨（カリン）の実の加工や利用方法について
- Q3 稲ワラを使用したしめ縄や縁起物について
- Q4 牛乳パックで作るイスについて
- Q5 唱歌『のばら』について
- Q6 アルファベットの筆記体の書き方について
- Q7 閻魔（えんま）大王の像・絵画などについて
- Q8 衛生的な正しい手洗いの方法について
- Q9 「おおきなかぶ」の劇を上演する際の脚本や演出について
- Q10 かかしの作り方について
- Q11 鳥のフンはなぜ白いのかについて
- NEW Q12 京都の手毬うたについて 2024/1掲載
- NEW Q13 QRコードについて 2024/1掲載
- NEW Q14 破れた絵本の修理方法について 2024/1掲載
- NEW Q15 即身成仏と即身仏について 2024/1掲載
- NEW Q16 鹿威し（ししおどし）について 2024/1掲載

NEW	Q17 柚餅子（ゆべし）について	2024/1掲載
NEW	Q18 長寿の祝いについて	2024/1掲載
NEW	Q19 漁や釣りで使う網の編み方について	2024/1掲載

登録番号	Q1	調査年月	2020年12月
質問	漢字で表記された国名について		
	<p>アメリカ=米国、亜米利加 イギリス=英国、英吉利など国名が一覧になっているものを収集しました。</p> <p>①『常識の漢字』の「主な国名・都市名を漢字で書けば」p.183-p.186には、40か国以上掲載されています。</p> <p>②『漢字の缶づめ 教養編』の「外国国名を表す漢字」p.76-p.78には、漢字で表した場合（亜米利加等）と一文字で表した場合（米等）、またクイズも掲載されています。</p> <p>③『あて字用例辞典』の「外国名-地名」p.467-p.470には、地名と国名併せて、多数掲載されています。</p> <p>④『三省堂ポケット難読語辞典』p.280-p.282に78か国掲載されています。</p> <p>⑤『ちょっと自慢したくなる！難読漢字の豆知識』p.156-p.159には地図と共に80か国掲載されています。p.160-p.163には世界の地名が多数掲載されています。</p> <p>⑥『辞書にない「あて字」の辞典』「和訳便覧地理篇①アジア・アフリカp.42 ②南・北アメリカp.60 ③ヨーロッパp.76」には、地域ごとに国名と地名が多数掲載されています。</p> <p>⑦『読んで楽しむ当て字・難読語の辞典』p.223-p.226「外国の地名」には48か国掲載されています。</p> <p>漢和辞典の巻末資料や児童の漢字辞典にも掲載がありました。</p> <p>⑧『大きな活字の三省堂漢和辞典』の「世界古今主要地名・国名漢字表現表」に、地名と併せて多数掲載されています。</p> <p>⑨『例解学習漢字辞典 第9版』p.1220「当て字のいろいろ」1.「なぜアメリカを「米」と書くのか」に9か国掲載されています。</p> <p>⑩『ドラえもん はじめての漢字辞典』p.249「当て字のいろいろ」に説明と共に6か国掲載されています。</p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <p>■①『常識の漢字』現代漢字セミナー／編 富士書店 「主な国名、都市名を漢字で書けば」</p> <p>■②『漢字の缶づめ 教養編』斎賀秀夫／著 旺文社「外国国名を表す漢字」</p> <p>■③『あて字用例辞典』杉本つとむ／編 雄山閣出版「外国名-地名」</p> <p>■④『三省堂ポケット難読語辞典』三省堂編修所／編 三省堂</p> <p>■⑤『ちょっと自慢したくなる！難読漢字の豆知識』造事務所／編著 メティアパル</p> <p>■⑥『辞書にない「あて字」の辞典』現代言語セミナー／編 講談社 「和訳便覧地理篇①アジア・アフリカ②南・北アメリカ③ヨーロッパ」</p> <p>■⑦『読んで楽しむ当て字・難読語の辞典』東京堂出版編集部／編 東京堂出版「外国の地名」</p> <p>■⑧『大きな活字の三省堂漢和辞典 第4版』長沢規矩也／編著 「世界古今 主要地名・国名漢字表現表」三省堂</p> <p>■⑨『例解学習漢字辞典 第9版』藤堂明保／編 小学館「当て字のいろいろ」</p> <p>■⑩『ドラえもんはじめての漢字辞典』小学館国語辞典編集部／編 小学館「当て字のいろいろ」</p>		

登録番号	Q2	調査年月	2018年11月
質問	花梨（カリン）の実の加工や利用方法について		
	『図説 花と木の大事典』 p.123によると「ほとんど木化した果肉は固いうえに酸味が強いので生食には向かない。砂糖漬けや果実酒にしたり、砂糖と煮詰めた汁を固め『かせいた』という菓子をつくる。また室内に置いたり輪切りにして浴槽に入れ芳香を楽しむ」とあります。その他関連本を収集しました。		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『図説 花と木の大事典』 柏書房		
	■ 『果実酒・花酒・薬用種手作り大百科』 藤巻あつこ/[著] グラフ社		
	■ 『おばあちゃんのお茶うけ 信州の漬物・おやつ・郷土料理240品』 吉田文子/文・写真 川辺書林		
	■ 『おばあちゃんのお茶うけ Part2 信州の漬物・おやつ・郷土料理290品』 吉田文子/文・写真 川辺書林		
	■ 『手づくりのお酒を楽しむ本』 地球丸		
	■ 『季節をたべる秋の保存食・行事食』 濱田美里/著 アリス館		
	■ 『くだものと木の実いっぱい絵本』 ほりかわりまこ/作 あるなる書房		

登録番号	Q3	調査年月	2011年9月
質問	稲ワラを使用したしめ縄や縁起物の作り方について		
回答	しめ縄、宝船、米俵など生活用品や縁起物の作り方が載っている本を収集しました。特に写真や絵を多用し子どもから高齢者まで使いやすい資料です。稲ワラを材料にした作品のつくり方は、工作分野の資料だけでなく、民具の資料にも掲載があります。		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています。		
	■『わら加工の絵本（つくってあそぼう 16）』みやざき きよし/へん みずかみみのり/え 農山漁村文化協会		
	■『写真でわかるぼくらのイネづくり 4 料理とワラ加工』農文協/編 赤松 富仁/写真 農山漁村文化協会		
	■『わら細工をつくろう（はじまりのもの体験シリーズ②）』 宮内 正勝/監修 リブリオ出版		
	■『しめ飾り造形とその技法』鈴木 安一郎/著 安藤 健浩/著 誠文堂新光社		
	■『しめかざり』解放教育自主講座・小倉/編著 海鳥社		
	■『つくって楽しむわら工芸』瀧本 広子/編 大浦 佳代/取材・執筆 農山漁村文化協会		
	■『つくって楽しむわら工芸 2』瀧本 広子/編 大浦 佳代/取材・執筆 農山漁村文化協会		
	■『民具のつくり方8 -しめ飾り-』民具製作技術保存会編集研究グループ/編 民具製作技術保存会		
■『民具のつくり方11 -宝船-正月の飾り物』 民具製作技術保存会編集研究グループ/編 民具製作技術保存会			
■『しめかざり』森 須磨子/著 工作舎			

登録番号	Q4	調査年月	2012年8月
質問	牛乳パックで作るイスについて		
	<p>四角形の椅子・六角形の椅子・背もたれ付きの椅子、ソファアの4種類の作り方があります。いずれも用途は踏み台・子供用です。 四角形の椅子の作り方は①～⑥、⑨～⑪の本に掲載されています。 六角形の椅子の作り方は①・③・④・⑥・⑦・⑨～⑪の本に掲載されています。 背もたれ付きの椅子の作り方は①・④～⑥・⑧・⑪の本に掲載されています。ソファアの作り方は④の本に掲載されています。 使用する牛乳パックの数は18-39個で、作り方は大きく2種類に分かれます。 牛乳パックを切り開かずにそのまま使用方法と、切り開いて三角形にした牛乳パックを使う方法です。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■①『おしゃれな牛乳パック&空き箱クラフト』寺西恵理子／著 PHP研究所		
	■②『牛乳パックでリサイクル140てん』ブティック社		
	■③『驚きのリメイク雑貨 アイデアと工夫と』寺西理恵子／著 河出書房新社		
	■④『かわいい「リメイク・エコ雑貨」』寺西恵理子／著 PHP研究所		
	■⑤『0・1・2歳のあそびと環境』寺西恵理子／著 フレーベル館		
	■⑥『牛乳パックでつくる便利なおうちこもの』ブティック社		
	■⑦『牛乳パックで作るかわいい便利こもの』ブティック社		
	■⑧『牛乳パックで作る便利でかわいい収納こもの』ブティック社		
	■⑨『牛乳パックでつくるおしゃれなおうち小物』ブティック社		
	■⑩『はじめてでもかんたん！エコなリメイク2牛乳パック』寺西恵理子／著 汐文社		
	■⑪『身近なもので作るハンドメイドレク』寺西恵理子／著 朝日新聞出版		

登録番号	Q5	調査年月	2012年8月
質問	唱歌『のばら』について（歌詞が同じだが曲が違うものがあることについて）		
	<p>『野ばらの来た道』p.18によると、「『のばら』はゲーテが作詞した詩であり、それに様々な作曲家が曲をつけたため歌詞（原詩）が同じで曲が違うものがある」とあります。</p> <p>『クラシック音楽作品名辞典』にはゲーテ作詞の『野ばら』の作曲者が5人いる【ウェルナー・シューベルト・シューマン・ハウプトマン・ライヒャルト】との記載があります。</p> <p>その曲数は『楽譜「野ばら」91曲集』の序文によると、121曲存在するとのこと。</p> <p>日本で有名な唱歌は、『野ばらの来た道』p.24-25によると『野ばら』の訳詞者である近藤朔風のもので、ウェルナーとシューベルトの曲で使われています。ウェルナー曲の訳詞「わらべは見たり、野なかのばら…」の方が広く使用されているとあります。</p> <p>その他、『日本語と原語で歌う世界の名歌』p.162に訳詞ではなく、「作詞」された「勝 承夫／作詞、ウェルナー／作曲」の『野ばら』が掲載されています。</p> <p>参考資料：①、③は滋賀県立図書館所蔵 ②、④は市内図書館で所蔵しています</p> <p>■①『野ばらの来た道』坂西八郎／著 響文社（滋賀県立図書館所蔵）</p> <p>■②『クラシック音楽作品名辞典』井上和男／編著 三省堂</p> <p>■③『楽譜「野ばら」91曲集』坂西八郎／編 岩崎美術社（滋賀県立図書館所蔵）</p> <p>■④『日本語と原語で歌う世界の名歌』野ばら社</p>		

登録番号	Q6	調査年月	2022年2月
質問	アルファベットの筆記体の書き方について		
	<p>①と②には大文字・小文字、一文字ずつの書き方が書き順とともに掲載されています。</p> <p>③と④には文字と文字の繋ぎ方が掲載されています。この2冊にも大文字・小文字の書き方は載っていますが、カリグラフィーのため、ボールペンで書く際には必要のない線の太さなどの説明が入っています。</p> <p>2020年（令和2）発行の中学校1年生の英語の教科書（例として⑤の教科書）巻末にも、「英語の書体」として筆記体の一覧表がありますが、書き順は掲載されていません。</p> <p>⑥によれば、学校での筆記体の指導については、1958年（昭和33）10月公示の中学校学習指導要領から指導するよう明示されてきましたが、2002年（平成14）の中学校学習指導要領の改訂により、筆記体の大文字及び小文字は指導しなくてもよいことになっています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■①『ローマ字学』稲葉茂勝／著、倉島節尚／監修 今人舎		
	■②『世界の文字の書き方・書道 1』稲葉茂勝／著、こどもくらぶ／編 彩流社		
	■③『もっと知りたいカリグラフィー』ディヴィッド・ハリス／著、弓狩直子／訳 雄鶏社		
	■④『大人かわいい手帳&ノートの書き方』島野真希／監修 世界文化社		
	■⑤『SUNSHINE ENGLISH COURSE 1』 開隆堂出版		
	■⑥『中学校移行措置読本』徳久治彦／編著 教育開発研究所		

登録番号	Q7	調査年月	2012年8月
質問	閻魔（えんま）大王の像・絵画などについて		
	<p>『残酷絵で読み解く地獄の真実』 p.50に地獄の裁判（土佐光信画「十王図」）が掲載されており、閻魔大王が描かれています。</p> <p>『てくてく地獄さんぽガイド』 p.88にも同様の土佐光信画「十王図」が掲載されています。p.122-131には日本各地に鎮座する閻魔大王の彫像の写真が掲載されています。また閻魔大王のルーツと日本の仏教思想の中でイメージが変遷していった経緯について、図像と共に詳細が掲載されています。</p> <p>『輪廻転生』 p.110には、閻魔王宮内に描かれた姿が載っています。</p> <p>『地獄絵大全』 p.12には「十王地獄図」、p.78-85「立山曼荼羅」（立山信仰を今に伝える掛軸式絵画）、p.89「熊野観心十界曼荼羅」、p.107「閻魔図」、p.109「閻魔大王八大地獄図」、p.112「地獄曼荼羅」等に山岳信仰、説話や物語で伝承された地獄観と共に閻魔大王の姿が描かれています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『残酷絵で読み解く地獄の真実』 村越英裕／著 宝島社		
	■ 『てくてく地獄さんぽガイド』 田村正彦／編著 グラフィック社		
	■ 『輪廻転生』 平凡社		
	■ 『地獄絵大全』 洋泉社		

登録番号	Q8	調査年月	2022年1月
質問	衛生的な正しい手洗いの方法について		
	<p>『看護技術ベーシックス』 p.27-28、『院内感染予防必携ハンドブック』 p.74～77に図と手洗いの説明が掲載されています。また手洗いの際の洗い残し部分が掲載されています。</p> <p>『いざというとき使えるために備えのものトリセツ図鑑1』 p.14-19と『保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき2』表紙裏には子ども向けの手洗いの図が掲載されています。またこの2冊にはなぜ手洗いをする必要があるのか記載があります。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『看護技術ベーシックス』 藤野彩子、長谷部佳子、間瀬由紀／編著 サイオ出版		
	■ 『院内感染予防必携ハンドブック』 洪愛子／編集 中央法規出版		
	■ 『いざというとき使えるために備えのものトリセツ図鑑1』 教育画劇		
	■ 『保健委員会といっしょに今日からできる予防のてびき2』 齋藤久美／監修 文研出版		

登録番号	Q9	調査年月	2022年2月
質問	「おおきなかぶ」の劇を上演する際の脚本や演出について		
	<p>『小学校たのしい劇の本 低学年』 p.186には「大きなかぶ」（英語の入った劇）が紹介されています。劇の脚本、演劇を行う上での演技や小道具の工夫をまとめた演出ノートも記載されています。</p> <p>『おはなしのパペット2』には、脚本と一緒に場面ごとに写真と絵が紹介されています。登場人物の容姿、製作方法も記載されており、演劇にも応用が利きそうです。</p> <p>劇にお面を使うなら参考になる本は、『中谷真弓のエプロンシアター！2』や『笑顔がいっぱいパネルシアターであそぼ』があります。演劇とは異なりますが、登場人物の作り方の型紙がありお面作成の参考になります。</p> <p>*エプロンシアター：舞台にみたてたエプロンのポケットから人形などを出したり付けたりしながら物語を展開する人形劇 *パネルシアター：パネル布をはった舞台に絵や文字などを貼って展開するおはなし・歌あそび・ゲーム</p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 『小学校たのしい劇の本 低学年』 日本演劇教育連盟／編 国土舎 ■ 『おはなしのパペット 2』 星野サエ／さく 鈴木昌弥／え 星の環会 ■ 『中谷真弓のエプロンシアター！ 2』 中谷真弓／著 チャイルド本社 ■ 『笑顔がいっぱいパネルシアターであそぼ』 関稚子／著 大東出版社 		

登録番号	Q10	調査年月	2021年6月
質問	かかしの作り方について		
	<p>かかしを作る方法について、以下の資料が参考になります。①p.159、②p.118-119、③p.84-85、④p.36-37 滋賀県立琵琶湖博物館の体験プログラムとしてかかし作りを実施した様子が⑤p.6-7に紹介されています。 全国のかかし祭りや歴史も含め伝統文化としての考察などが詳しく書かれた⑥や、子ども向けに科学的な根拠を踏まえたかかしを作る考え方にも触れている⑦（p.192、p.210、p.218）もあります。</p> <p>さらに…滋賀県立琵琶湖博物館ホームページには、滋賀県内の調査結果としてかかしの骨組み、中身、顔や身に着けているものの材料に関する資料があります。地域の方がフィールドレポーターとしてまとめたものです。 『1998年第2回フィールドレポーター「ホテル調査／案山子調査」』 https://www.biwahaku.jp/1998/10/1998_2.html 『1999年第3回フィールドレポーター「案山子調査／お雑煮調査」』 https://www.biwahaku.jp/1999/12/1999_3.html</p> <p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p> <p>■①『カカシバイブル』ピート小林／著 東京書籍</p> <p>■②『田んぼの教室』稲垣栄洋、栗山由佳子、松下明弘／著 家の光協会</p> <p>■③『田んぼが学校になった』佐伯剛正／著 岩波書店</p> <p>■④『お米なんでも大百科4 学校でお米をつくろう！』ポプラ社</p> <p>■⑤『みんなで出かけよう！わたしたちの社会科見学5 かかしづくりに挑戦しよう』コンパスワーク／編・著 偕成社</p> <p>■⑥『呵呵誌 案山子百科全集』佐藤信二／編 佐藤信二／発行</p> <p>■⑦『眠りと夢 少年少女科学名著全集22 かかしの研究』宮城音弥、中村浩／著 国土社</p>		

登録番号	Q11	調査年月	2011年5月
質問	鳥のフンはなぜ白いのかについて		
	<p>『うんちとおしっここの100不思議』 p.194によるとハトの場合、白いクリーム状のフンは尿酸で尿の成分に近いとあり、本来のフンはこの白い尿酸に付着している暗緑色の部分であると記載されています。</p> <p>『鳥の雑学事典』 p.53によれば白いのは尿酸のかたまりとあります。</p> <p>『鳥のおもしろ行動学』 p.34によれば鳥の尿には尿酸とりん酸が含まれており、強い漂白力があると記しています。</p> <p>『ペットバード百科』 p.21によれば、「鳥の尿はおもに尿酸のかたちをとっています。尿酸とは鳥のフンについている白色の成分で、尿素のかたちをとるほ乳類とは異なります…」とあります。</p> <p>尿酸の色については『化学大辞典』 p.1704には「水に微溶の細かい白色結晶。鳥類や爬虫類の排出物中に多く含まれる」と記載されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『うんちとおしっここの100不思議』 左巻健男／監修 山本文彦・貝沼関志／編著 東京書籍 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『鳥の雑学事典』 山階鳥類研究所／著 日本実業出版社 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『鳥のおもしろ行動学』 柴田敏隆／著 ナツメ社 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『ペットバード百科』 デビッド・アルダートン／著 誠文堂新光社 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『化学大辞典』 東京化学同人 		

登録番号	Q12	調査年月	2011年4月
質問	京都の手毬うた（京都の通りの名前が入っている歌）について		
	<p>京都の手毬うたには京都の通りの名前が入っているものがあります。『日本わらべ歌全集15 京都のわらべ歌』p.248-251に記載があります。有名な「丸竹夷（まるたけえべす）…」から始まる歌は、歌詞とメロディー譜、成り立ちの説明が記載されており、京都の東西の通りが歌われています。類歌として「雪駄、ちゃらちゃら…」、参考歌として「寺、御幸、麩屋に富…」（京都の南北の通り）から始まる歌が紹介されています。ただし、参考歌の歌のふしは消滅しているとあります。</p> <p>「寺、御幸、麩屋に富…」の全歌詞は、『京都事典 新装版』p.125の「京の通り名」に記載があります。東西南北の通り名は『京都のツボ』p.117の「京都通り名地図」がわかりやすく解説してあります。</p> <p>また、「丸竹夷…」から始まる歌は市内所蔵のCD『日本のわらべ歌7』に収録されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『日本わらべ歌全集15 京都のわらべ歌』 柳原書店		
	■ 『京都事典 新装版』 村井康彦／編 東京堂出版		
	■ 『京都のツボ』 柏井 壽／著 集英社インターナショナル		
	■ 『日本のわらべ歌7』（音響資料：CD） 柳原書店		

登録番号	Q13	調査年月	2014年2月
質問	QRコードについて		
	<p>『体系的に学ぶ携帯電話のしくみ』 p.111によると、QRコードは「迅速な読み取りを目指して開発された2次元コードの一種で、【QR】は【Quick Response】に由来します。1994年にデンソーが開発し、現在ではデンソーから独立したデンソーウェーブの登録商標となっています。使用に当たってはライセンス契約や使用料が不要で、だれでも簡単に作成して使用できる」と紹介されています。</p> <p>『QRコードの奇跡』によれば、日本だけでなく中国、アメリカ、メキシコ、ヨーロッパでも広く利用されています。</p> <p>『QRコードのおはなし』 p.13には「バーコードでは主に英数字しかデータ表現できませんでしたが、2次元バーコードでは、英数字はもちろん、ひらがな、カタカナ、漢字、さらには写真や絵など、デジタル化した画像（バイナリーデータ）も表現することができます」とあります。</p> <p>『知れば知るほど好きになる科学のひみつ』 p.71には、「QRコードができたきっかけは、囲碁」とあり、「開発者は、昼休みに会社で遊んだ囲碁をヒントに、横以外に縦にも白黒を並べれば、たくさんの情報を記録できると考えました」と開発のきっかけも紹介されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『体系的に学ぶ携帯電話のしくみ』 神崎洋治／著 日経BPソフトプレス		
	■ 『QRコードの奇跡』 小川進／著 東洋経済新報社		
	■ 『QRコードのおはなし』 標準化研究学会／編 日本規格協会		
	■ 『知れば知るほど好きになる科学のひみつ』 本田隆行／監修 高橋書店		

登録番号	Q14	調査年月	2014年6月
質問	破れた絵本の修理方法について		
	<p>『図書の修理とらの巻』 p.38-40によると、破れた絵本のページを直すには、糊と薄い和紙を使う方法があります。破れた箇所にでんぷん糊を塗って貼り合わせます。その上からちぎった和紙を貼ってヘラで撫でつけた後、撥水性の紙を補修ページの前後に挟んでプレスします。完全に乾いたら、はみ出た和紙の部分を切り落として修理完了です。</p> <p>『真野先生。本が傷んだら修理するだけじゃダメってホント?』 p.117-118には、破れたページの補修方法の流れが写真付きで解説されています。</p> <p>『図書館資料の保存と修理』 p.62-67にも上記の修理方法が必要な道具とともに詳しく説明されています。また p.68には、補修用テープを使った修理の仕方と注意点も載っています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『図書の修理とらの巻』 NPO法人書物研究会/編 澁標		
	■ 『真野先生。本が傷んだら修理するだけじゃダメってホント?』 真野節雄/監修 DBジャパン		
	■ 『図書館資料の保存と修理』 真野節雄/著 日本図書館協会		

登録番号	Q15	調査年月	2014年11月
質問	即身成仏と即身仏について		
	<p>●即身成仏とは… 『仏教用語事典』p.252によれば「現在の肉体のまま仏に成ること。宗によって説く意味が違うが、密教では印を結び真言を唱え、仏徳を念じれば衆生が本来持つ仏の法身を証して成仏すると説く」とあります。『密教 悟りとほとけへの道』p.82には、より詳細な即身成仏の理論について記載されています。また『真言密教の本』p.66には、空海の唱えた即身成仏、大日如来と一体となる境地について記載があります。</p> <p>●即身仏とは… 『仏教用語事典』P.252-253によれば「即身成仏の思想を実際に体現するとして、肉体をミイラ化させたものを、信者は即身仏として崇める入定（にゅうじょう）ともいう。空海は高野奥の院に入定して即身仏になっているといい、出羽三山の湯殿山でも、これを志す行人が出、土中入定して息絶え、これを掘り出して即身仏とかミイラ仏と称して崇めている」とあります。『死者のひみつ 世界のミイラ』p.56-57によれば、即身仏になるには体中の脂肪や筋肉の水分を減らす必要があるため、僧侶は木の実や根などだけを食べる木食の修業を行い祈りを続けます。死が近づくと僧侶は地下へ入り竹筒で空気穴を確保し生存を知らせる鉦（かね）を置き一人静かな暗闇で瞑想して命が尽きるのを待ちます。鉦が鳴らなくなると弟子たちが空気穴を閉じ数年後に掘り出されて即身仏として祀られたそうです。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■『仏教用語事典』須藤隆仙/著 新人物往来社		
	■『密教 悟りとほとけへの道』頼富本宏/著 講談社		
	■『真言密教の本』学習研究社		
	■『死者のひみつ 世界のミイラ』マット・ラルフス/文 BL出版		

登録番号	Q16	調査年月	2019年4月
質問	鹿威し（ししおどし）について		
	<p>『自分でできる現代和風の庭づくり』 p.138によると「鹿威し」（ししおどし）は「僧都」/「添水」（そうず）とも呼ばれています。「僧都は、猪（しし）おどし、鹿（しし）おどしなどともいい、農村で音を出して猪や鹿などを追いはらうために考案されたもののようです」とあります。また、基本構造の図と、実際のカラー写真も掲載されています。</p> <p>『和の文化を発見する水とくらす日本のわざ3』 p.24には「江戸時代、石川丈山（江戸初期の文人で漢詩の第一人者。茶道にも精通した）の山荘だった京都の詩仙堂に設置されたのが最初とされています」とあり、『日本史小百科庭園』 p.257には詩仙堂庭園の最高の見所として、「東方の谷川より流水を利用した猪おどし（添水）の意匠」が挙げられています。</p> <p>『日本庭園』 p.72によると「実用から転じて露地にもたらされたもの」で「本来はその名の通り、田畑を荒らす鳥獣を追い払うためのものだった」とあります。</p> <p>『日本庭園鑑賞便覧』 p.99には「添水」として掲載されており、「流水を竹筒に導き入れ、その作用で石の頭をたたき、竹筒の音によって猪や鹿を追ったもの。これを添水唐臼（そうずからうす）といい、略して添水」とあります。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『自分でできる現代和風の庭づくり』 三橋一夫・高橋一郎／著 主婦と生活社		
	■ 『和の文化を発見する水とくらす日本のわざ 3』 中庭光彦／監修 汐文社		
	■ 『日本史小百科庭園』 森蘊／著 東京堂出版		
	■ 『日本庭園』 重森千青／著 ナツメ社		
	■ 『日本庭園鑑賞便覧』 京都林泉協会／編著 学芸出版社		

登録番号	Q17	調査年月	2023年9月
質問	<p>柚餅子（ゆべし）の作り方について</p>		
	<p>『和菓子の辞典』 p.361によると「【柚餅子】の原形は【丸柚子餅】で、柚子の実をくり抜き、その中に米粉、餅粉、白味噌、砂糖などを入れて蒸したものとあります。『本朝食鑑2』 p.67には「柚辺志（ゆべし）。柚庄（ゆべし）とも書く。その造法は略（ほぼ）柚味噌に似ている」「僧家が盛んに造っている」とあり、柚味噌との違いとともに作り方が載っています。『柚子』 p.52には「室町時代から兵糧食として日本各地で作られた」、『柚子のある暮らし』 p.28-29には、「昔ながらの保存食。材料や製法は郷土色豊かです」と紹介しており、中身をくり抜いた柚子に材料を詰めて蒸し、一晚乾かしたあとに和紙で包み、風通しの良い場所に吊るして固くなるまで寒の風にさらす方法が写真つきのレシピとともに紹介されています。</p> <p>他にも柚子以外の「ゆべし」があり、『信州くるみ日和』のp.20と『一年生からのらくらくレシピ 和スイーツ』 p.32-33に「くるみゆべし」が、『ホームベーカリーレシピブック』 p.89にはシナモン風味と黒ごま風味のレシピが載っており、信州や東北地方のお菓子として紹介されています。</p>		
	<p>参考資料：市内図書館で所蔵しています</p>		
	<p>■ 『和菓子の辞典』 奥山益朗／編 東京堂出版</p>		
	<p>■ 『本朝食鑑2』 人見必大／著 平凡社</p>		
	<p>■ 『柚子』 中村成子／著 メディクス</p>		
	<p>■ 『柚子のある暮らし』 中村成子／著 文化出版局</p>		
	<p>■ 『信州くるみ日和』 日本くるみ会議／編 ほおずき書籍</p>		
	<p>■ 『一年生からのらくらくレシピ 和スイーツ』 若宮寿子／監修 文研出版</p>		
	<p>■ 『ホームベーカリーレシピブック』 高橋エミ／著 地球丸</p>		

登録番号	Q18	調査年月	2019年1月
質問	長寿の祝いについて		
	<p>●名前の由来 『一生使える！冠婚葬祭のマナー』 p.100-101に記載があります。 還暦（61歳）⇒生まれた年と同じ干支に還ることから。 古希（70歳）⇒唐の詩人・杜甫の『曲江詩』中の「人生七十古来稀也」という詩句から。古稀とも。 喜寿（77歳）⇒「喜」の草書体が七十七と読めることから。 傘寿（80歳）⇒「傘」の略字が八十と読めることから。 米寿（88歳）⇒「米」を分解すると八十八になることから。 卒寿（90歳）⇒「卒」の通用異体字は「夨」と書き、九十と読めることから。 白寿（99歳）⇒「百」から「一」をひくと「白」という字になることから。 百寿（100歳）⇒区切りのよい数字で、百賀、紀寿とも。 茶寿（108歳）⇒「茶」の草かんむりが十と十で二十、その下の字を米と見立てて八十八、合わせて百八となることから。 皇寿（111歳）⇒白が九十九、王が十と二を表し、足すと百十一になることから。 珍寿（112歳）⇒類稀な長寿という意味から。</p> <p>●色とその意味 『伊勢丹の最新儀式110番』 p.138-149に記載があります。 還暦（赤）⇒ 赤ちゃんに還るという赤になぞらえ、また魔除け、厄除けの色とも信じられている。 古希（紫）⇒ 聖徳太子が冠位十二階の制度で最高の色と定めて以来、紫が高貴な色とされてきたことによる。 喜寿（紫）⇒ 色の意味についての記載なし 傘寿（金茶）⇒ 黄は天の太陽、地にあっては沃土黄金を象徴して自然の恵みの色とされ、古代中国の「陰陽五行説」でも土を意味し、中央を示す要めの色でもあることからきたものよう。 米寿（金茶）⇒ 色の意味について記載なし 卒寿（白）⇒ 色の意味について記載なし 白寿（白）⇒ その名のとおり、基調色は白。白は古来より神聖な色として神事のために使われてきた。汚れのない清らかなものの象徴。</p> <p>『イラスト版子どもの伝統行事』 p.76、『日本のしきたり』 p.78-79、『冠婚葬祭のことば』 p.28-29にも、名前の由来について、同上の記載があります。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■ 『一生使える！冠婚葬祭のマナー』 住友淑恵／監修 PHP研究所		
	■ 『伊勢丹の最新儀式110番』 伊勢丹／著 誠文社新光社		
	■ 『イラスト版子どもの伝統行事』 谷田貝公昭／監修 合同出版		
	■ 『日本のしきたり』 ミニマル+BLOCKBUSTER／著 彩図社		
	■ 『冠婚葬祭のことば』 ことば舎／編集 評論社		

登録番号	Q19	調査年月	2015年6月
質問	漁や釣りで使う網の編み方について		
	<p>漁業の漁具から調べると『網』 p.77-87には漁網具の構造として説明と簡単なイラストの掲載があります。「漁網」という言葉で『世界大百科事典7』【漁網 ギョモウ】 p.440をみると名称・種類などが解説されています。</p> <p>釣りの分野からでは『新釣り具手作り入門』 p.57-84に「網の編み方を覚えてフラシを作る」とあります。”フラシ”とは”振らしビク”の略で、釣った魚をいれておく釣り道具です。網針（あばり）という編み道具の作り方から材料の選び方、実際の編み方がわかりやすく解説されています。</p> <p>ロープの結び方から調べると『ロープの結び方百科』 p.189-193に「網（ネット）」として編み方が紹介されています。ロープで編むため漁用ではありませんが、ビクや手さげ袋、ハンモックなど広汎に応用できるとあります。『図解実用ロープワーク』 p.91-93にも編み方の記載があり、防護ネットなどにも使用されるが、ほとんどのものが機械編みで、手仕事で編むのは漁師が網の補修をするときくらいだとあります。『ロープとひもの結び方』 p.92-93には「ウォールラックに使える網目」をつくるとしてインテリアへの応用が記載されています。</p>		
	参考資料：市内図書館で所蔵しています		
	■『網』 田辺悟／著 法政大学出版局		
	■『世界大百科事典7』 平凡社		
	■『新釣り具手作り入門』 片山和夫／著 廣済堂出版		
	■『ロープの結び方百科』 小山荒雄／著 舵社		
	■『図解実用ロープワーク』 前島一義／著 成山堂書店		
	■『ロープとひもの結び方』 主婦と生活社		